

館長だより第25号（2021・5）

和歌山県内埋蔵文化財調査成果展

「紀州のあゆみ—発掘された郷土の歴史—」

コロナウィルス第三次緊急事態宣言が発令されました。さらにあらたに変異ウィルスが次々に明らかになり、落ち着かない今日この頃です。新型コロナ感染防止のためのワクチン接種もようやく高齢者への接種が開始され始めたようですが、全国民に至るまでにはまだ時間を要するようです。皆様方には感染予防のため日々努力されていることと拝察申し上げます。

また和歌山県立紀伊風土記の丘では、令和2年度春期企画展「紀州の獅子と獅子舞」を5月9日（日）で好評のうちに終了いたしました。ご来館いただきました方々にお礼申し上げます。

さて来る5月29日（土）から6月27日（日）の予定で和歌山県内埋蔵文化財調査成果展「紀州の歩み—発掘された郷土の歴史—」を公益財団法人和歌山県文化財センターの主催で開催いたします。

近年の埋蔵文化財発掘調査によって、和歌山県の歴史を考えるうえで重要な考古資料が多く蓄積されてきました。これらの調査成果をいち早く皆様に公開することにより、文化財をより身近なものとして、その保存、活用について考える機会とするとともに、文化財に対する共通の理解と知識を深め、文化の振興に寄与することを期待いたしております。

展示は、文化財センターが担当実施しました各遺跡の調査によって出土した資料の中から、代表的なものを紹介するものです。

今回は日高郡美浜町の吉原遺跡で見つかった弥生時代・古墳時代の土器埋納遺構や土坑出土の弥生土器や須恵器（はそう、高坏）、石製品などをはじめ、海南市の且来VI遺跡から見つかった弥生時代から古墳時代の溝や柱穴などから出土



吉原遺跡 古墳時代の土器埋納遺構(西から)



且来VI遺跡 弥生土器(西から)

した土器（長頸壺ほか）などや、和歌山市和歌山城跡三の丸の武家屋敷出土の江戸時代の木製品などがあります。

このほか和歌山市田屋遺跡、新宮市新宮城下町遺跡、西牟婁郡上富田町龍松山城跡などの各遺跡出土遺物、西牟婁郡すさみ町立野遺跡の調査風景の写真パネル、岩出市根来寺遺跡の階段状遺構の型取り複製品制作工程などの写真パネルの展示を行います。

【展示講座】

6月20日（日）13：30～15：30

【開館時間・休館日】

開館時間 9：00～16：30（入館は16：00まで）

休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日または休日の場合は次の日）

【入館料】 一般 190 円（20 名以上団体割引 150 円）

大学生 90 円（20 名以上団体割引 70 円）

高校生以下、65 歳以上、障がい者手帳等をお持ちの方及び県内在住の留学生は無料（証明書の提示が必要）